

Publishing OS

書いたものを、 使い回せる資産にする。

パブリッシングOS — 原稿・ヒアリングから、商品・記事・LP・FAQへ

原稿を毎回読み直して、一から書き直す。その繰り返しで、重複・矛盾・古い版の混入を生みます。パブリッシングOSは、原稿を「根拠付きの部品」に分けて、媒体ごとに組み立て直すための制作の仕組みです。

部品にして、根拠を残して、組み立てる。

Overview

パブリッシングOSとは何か

書籍原稿・ヒアリング記録・一次資料を、**再利用できる最小の部品(知識ブロック)**に変換し、商品・「note」記事・LP(販売ページ)・FAQへ、媒体ごとに役割を変えて再編集するための制作の仕組みです。

いまの提供状況

制作の仕組みそのものは、社内の制作で使っている段階です【試験運用中】。お客様が1回ごとにお支払いして使える「AI出版アシスタント」は、**まだ購入できません**【準備中】。詳しくは4ページ目に整理しています。

媒体ごとに役割を固定する

書籍は体系、商品は実践、「note」は信頼づくり、LPは行動のきっかけ。役割をはっきりさせ、全部が同じ内容にならないようにします。

転載せず、再編集する

原稿をそのまま貼らず、部品の単位で媒体に合わせた形へ書き直します。

根拠のない主張を書かない

成功の保証や、法律・金融の断定は書きません。根拠が弱いものは、弱いと分かる形で残します。

古い情報は消さずに隔離する

古くなった情報には印を付けて残し、最新版と混ざらないようにします。

台帳を先に整えるのが、この仕組みの中心です。文章を先に書くと、修正のたびに全文を書き直すことになります。根拠・部品・商品案の一覧が整っていれば、販売ページや記事は、組み立てるだけで済みます。

Mechanism

資料から書き出しまでの流れ

1 資料を置く

原稿・文字起こし・ヒアリング記録など、元になる資料を専用の置き場に入れます。

2 根拠を取り出す(Evidence)

資料から、主張・根拠・手順・注意点を抜き出し、「事実」「解釈」「仮説」「未確認」に分類します。根拠が不明なものは暫定の印を付け、法務・税務・医療・補助金などに触れるものは高リスクの印を付けます。

3 知識ブロックにする(Block)

根拠を、1つの主張・1つの手順・1つの注意など、再利用できる単位にまとめます。すべてのブロックに、元になった根拠の番号を必ず付けます。

4 商品案をつくる(Product)

複数のブロックから、商品の設計書を作ります。候補は3案、対象読者・解決したい課題・対象外・リスクを明記します。既存の商品と重なっていないかも確認します。

5 販売ページをつくる(Offer)

無料で見せる部分・有料部分・よくある質問・注意事項・申込の呼びかけ(1つ)で構成します。

6 審査する(Review)

事実確認・表現・法務リスクなどを、リスクの高さに応じた審査役が確認し、記録を残します。

7 書き出す(Export)

確認項目をすべて通ったものだけを、公開用の文章として書き出します。公開の前には、変更理由を記録します。

仕組みの側にも、止める機能があります。根拠の番号がないブロックの保存、重複確認なしの商品の公開、高リスクなのに専門家の確認記録がない販売ページの書き出しは、機械的に止まります。人の注意だけに頼らない設計です【試験運用中】。

Output

何が作れるか／人が確認すること

作れるもの	内容	提供状況
根拠つきの知識ブロック	原稿や音声を、出典・引用元を紐づけた部品に分類します。	社内制作は【試験運用中】／お客様向けの都度利用は【準備中】
ブロックの初稿	転載ではなく、根拠に基づいて再構成した読み物にします。	社内制作は【試験運用中】／お客様向けは【準備中】
商品の設計書（3案）	対象読者・課題・対象外・リスクを整理します。	社内制作は【試験運用中】／お客様向けは【準備中】
販売ページの草稿	無料部・有料部・FAQ・注意事項・申込の呼びかけを構成します。	社内制作は【試験運用中】／お客様向けは【準備中】
「note」記事・FAQ	信頼づくりの記事や、問い合わせ内容から作るFAQ・次の商品候補を再編集します。	社内制作は【試験運用中】
制度変更の影響確認	制度や数値が変わったとき、影響を受ける根拠・文章の一覧を出します。	社内制作は【試験運用中】

仕組みが担うこと

- 部品への分解と、根拠の紐づけ
- 重複・矛盾・古い版の混入の洗い出し
- 誇大表現・断定表現の機械的な点検
- 審査の記録と、変更理由の記録

人が確認すること

- 公開してよいかの最終判断
- 高リスク領域（補助金・融資・法務・税務・医療など）の専門家による確認
- 実績・数字・事例が事実かどうか
- 自分の言葉・自分の立場として出してよいか

審査は、リスクの高い内容では5つの観点（事実・法務・編集・商品性・クレーム予測）、それ以外では2つの観点（事実・編集）で行います。ただし、仕組みの審査は専門家の判断の代わりにはなりません。

Status

お客様向けの提供状況（AI出版アシスタント）

お客様が原稿または音声を渡し、1回ごとの利用で結果を受け取る形を、3つの段階で準備しています。**いずれも、現時点では購入のボタンを出していません【準備中】。**

段階	お渡しするもの（予定）	提供状況
ライト	原稿・音声を、根拠（出典）付きの知識ブロックに構造化	【準備中】
標準	ライトに加え、ブロックごとの初稿と事実確認の審査まで	【準備中】
フル	標準に加え、商品設計書（候補3案）と販売ページ草稿を、5つの審査を経て	【準備中】

価格

暫定の検討段階で、確定していないため、本資料には記載しません。

お渡しまでの時間

決済の直後ではなく、工程を実行して審査を経たあとの納品です。資料の量により変わります。高リスクの内容は、追加の審査で1～2日延びることがあります。

音声での入力

文章の貼り付けに加え、音声ファイルでの入力にも対応する準備をしています【準備中】。

対象外

書籍1冊の丸ごと代行ではありません。法務・税務などの専門的な判断を代行するものでもありません。

いま、ご相談いただけること

お手元の原稿やヒアリング記録を商品・記事にしたい場合は、現在の提供範囲をご案内しますので、お問い合わせください。審査を通らなかった場合は、残っている課題を明示した差し戻しとしてお返しする設計です。

ご相談から支援開始までの流れ

1 ご相談(無料・オンライン可)

いま起きていること、困っていることをそのままお話しください。整理されていなくて構いません。

2 状況と論点の整理

確認すべき事項、関係する制度、必要な資料、想定される期限を一覧にしてお返しします。

3 進め方のご提案

CO-LINKが担う範囲、専門家に依頼する範囲、費用と期間の目安をお示しします。

4 着手・進行管理

実務の実行と関係者調整を進め、決定事項と次の一手を記録して共有します。

本資料の位置づけと注意事項

- 本資料は一般的なご案内であり、個別の法的・税務的・財務的な最終判断を示すものではありません。
- 「準備中」と記した機能は、現時点ではお申し込みいただけません。提供開始の時期・価格は、確定した時点でご案内します。
- 根拠の紐づけと審査は、内容の正しさや、公開後の成果を保証するものではありません。
- 売上・集客・成約などの成果を約束するものではありません。
- 制度・法令・要件は改正されることがあります。ご検討の際は必ず最新の公式情報をご確認ください。
- 採択・受給・融資・採用・成約・売却・節税などの成果を保証するものではありません。
- 資格が必要な業務(法律・税務・登記・労務・許認可・鑑定評価等)は、有資格者がそれぞれの責任において行います。

※これは一般情報です。最終判断前に必ず該当分野の専門家へ確認してください。

株式会社CO-LINK

〒225-0015 神奈川県横浜市青葉区荏田北1-2-1
Platform412
TEL 050-3155-1904 / info@co-link1618.com
法人番号 3020003026938

お問い合わせ

Web:co-linkweb.com
お問い合わせフォーム:co-linkweb.com/contact
無料診断:co-linkweb.com/diagnosis